

福岡市保健福祉総合計画（含：地域福祉計画）の 進行管理について

目 次

I	福岡市保健福祉総合計画の基本理念等	2 ページ
II	福岡市保健福祉総合計画のモニタリング指標について	3 ページ
III	福岡市保健福祉総合計画の計画目標について	5 ページ
IV	平成 24 年度第 3 回市政アンケート調査結果と分析	6 ページ

平成 24 年 11 月

福岡市保健福祉局総務部政策推進課

I 福岡市保健福祉総合計画の基本理念等

地域には、高齢者や障がいのある人など、日常的な介護や支援を必要とする人や、深刻な課題を抱えている人、自立して生活できる人がともに生活しています。

個々人が抱える課題の背景には様々な要因がありますが、少子高齢化、社会経済情勢の変化とともに、家庭、地域社会、企業などの相互扶助機能が低下していることとも深い関わりがあり、これらの課題の解決に向けて、市民、事業者、行政などが、自らできることを実践しながら、相互に支え合い、すべての市民が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりが求められています。

基本理念

市民が自立し、かつ相互に連携して支え合うという精神のもとに、
高齢者や障がいのある人をはじめすべての市民が一人の人間として尊重され、
住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることができる
ハード・ソフト両面に調和のとれた健康福祉のまちづくり

基本施策

3つの視点

【 自 助 】

生きがいのある
健康な暮らし

【 共 助 】

支え合いのある
地域づくり

【 公 助 】

安全・安心な
市民生活

- 1 市民一人ひとりへの適切な情報提供
- 2 相談しやすい体制づくり
- 3 良好なサービスを選択できる仕組みづくり
- 4 社会全体で進める生きがい・健康づくり
- 5 学習・教育機会の拡充
- 6 人材の育成
- 7 地域における保健福祉活動の活性化
- 8 要援護者の支援
- 9 生活の安定確保
- 10 生活の安心確保
- 11 医療体制・健康危機管理体制の充実
- 12 暮らしの衛生向上
- 13 「ユニバーサルなまちづくり」の推進

Ⅱ 福岡市保健福祉総合計画のモニタリング指標について

(1) モニタリング指標

福岡市保健福祉総合計画では、自分や家族が健康で生きがいを持って暮らす「自助」、地域で相互に支え合う「共助」、各種社会保障制度をはじめとする保健福祉サービスなど、自助、共助だけでは解決の困難な部分を支える「公助」の3つの視点を踏まえて、次のとおり「モニタリング指標」を設定しています。

福岡市保健福祉審議会において定期的に指標の推移をモニターし、基本理念実現のための施策の有効性評価などを行うこととします。

視点	モニタリング指標
自助	○保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているか ○保健・医療・福祉に関する相談について、どの程度満足しているか
共助	○住民参加による地域での支え合い活動に参加しているか ○今後、住民参加による地域での支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいか
公助	○福祉の充実についてどの程度満足しているか

(2) 平成24年度第3回市政アンケート調査について

モニタリング指標の調査のため、市政アンケート調査を実施しました。

- ① 実施主体：市長室広聴課
- ② 実施時期：8月20日～9月3日（年間6回実施する内の3回目）
- ③ 調査目的：福岡市の施策や事業の推進の参考とするとともに、市民の市政への関心や理解を深めていただくため
- ④ 調査対象：福岡市内に居住する満20歳以上の男女（市政アンケート調査協力員 約600名）
- ⑤ 回収結果：546件／655件（回収率：83.4%）
- ⑥ 調査テーマ：ア 食育について（健康増進課）

イ 福岡市の保健福祉について（政策推進課）16問

ウ 福岡市の広報活動について（市長室広報課）

(3) モニタリング指標の推移

視点	モニタリング指標	指標設定の考え方	平成 21 (2009) 年度 市政に関する意識調査 (回答者数=2,633 人)	平成 24 (2012) 年度 市政アンケート調査 (回答者数=546 人)
自助	○保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているか	市民が自主的に、自分や家族の生活、健康状況等に応じて、早的確に情報を取得し、身近に気軽に相談できるように、情報提供や相談体制の基盤を整		① 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に満足している割合 58.1%
	○保健・医療・福祉に関する相談について、どの程度満足しているか	えることが、「自助」の視点からの健康福祉のまちづくり実現につながります。		② 保健・医療・福祉に関する情報提供や案内に不満がある割合 37.1%
共助	○住民参加による地域での支え合い活動に参加しているか	参加の意向は高いにもかかわらず、実際の参加は低い状況となっているため、参加の割合が高まることで、地域で相互	① 「参加している」 + 「たまに参加している」人の割合 31.0%	① 「参加している」 + 「たまに参加している」人の割合 33.0%
	○今後、住民参加による地域での支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいか	に支え合う「共助」の視点からの健康福祉のまちづくり実現につながります。	② 「ほとんど参加していない」 + 「参加していない」人の割合 51.1%	② 「ほとんど参加していない」 + 「参加していない」人の割合 54.2%
公助	○福祉の充実についてどの程度満足しているか	満足度の向上や、不満である割合の減少は、「公助」の視点からの健康福祉のまちづくり実現につながります。	① 「参加したい」 + 「機会があれば参加したい」人の割合 62.8%	① 「参加したい」 + 「機会があれば参加したい」人の割合 65.0%
			② 「どちらかといえば参加したくない」 + 「参加したくない」人の割合 33.7%	② 「どちらかといえば参加したくない」 + 「参加したくない」人の割合 33.1%
公助	○福祉の充実についてどの程度満足しているか	満足度の向上や、不満である割合の減少は、「公助」の視点からの健康福祉のまちづくり実現につながります。	① 「満足している」 + 「どちらかといえば満足している」人の割合 33.0%	① 「満足している」 + 「どちらかといえば満足している」人の割合 43.3%
			② 「どちらかといえば不満」 + 「不満である」人の割合 40.1%	② 「どちらかといえば不満」 + 「不満である」人の割合 17.8%

Ⅲ 福岡市保健福祉総合計画の計画目標について

福岡市保健福祉総合計画は地域福祉計画としての内容も併せ持っていることから、地域福祉分野の取組みについては、「モニタリング指標」とは別に、計画目標等を設定し、定期的に進捗状況を把握します。

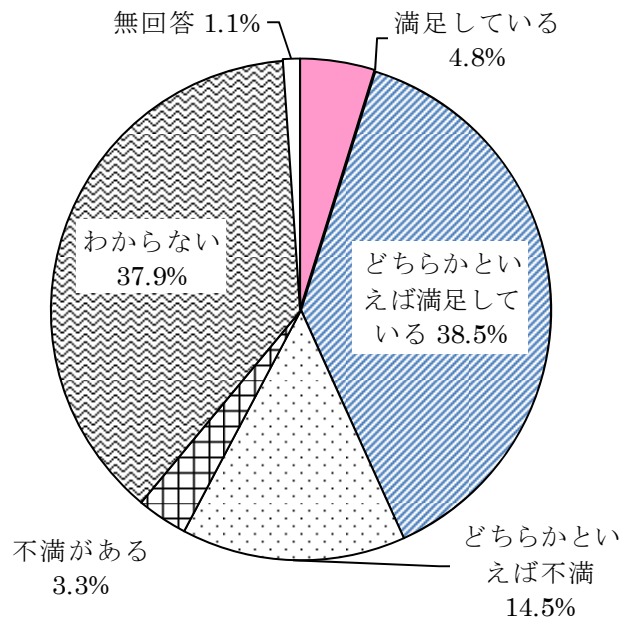
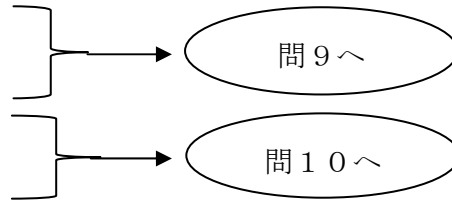
取組内容	計画目標・スケジュール等	平成 23 年度実績
○ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会の数 ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会の数の拡大に取り組みます。	【現状（平成 22 年度）】 1,635（72.2%） 【目標（平成 27 年度）】 2,040（90.0%）	1,638（71.5%）
○ふれあいサロンの箇所数 ふれあいサロンを実施している箇所数の拡大に取り組みます。	【現状（平成 22 年度）】 282 箇所 【目標（平成 27 年度）】 330 箇所	292 箇所
○地域福祉ソーシャルワーカー・モデル事業の実施 地域福祉ソーシャルワーカーモデル事業を通して、地域での福祉活動への支援やコーディネート仕組みを構築します。	【目標】 地域での見守り活動の活性化 【平成23～25年度】 ・事業実施 ・地域の福祉課題の類型化 ・福祉課題の改善と事例の蓄積 ・ネットワーク体制の仕組みづくり 【平成26年度～】 ・地域での福祉活動支援策の再検討	詳細は、別途報告
○要援護者情報の提供に関する覚書を締結した自治協議会等の数 福岡市から要援護者台帳の情報提供を受ける自治協議会等の数を増やし、要援護者の災害時支援を進めます。	【現状(平成 22 年度)】 78 校区・地区（ 52.3%） 【目標(平成 27 年度)】 149 校区・地区(100.0%)	97 校区・地区（65.1%）
○福岡型地域包括ケアシステムの構築 要介護度が重度な在宅生活者へ、医療、介護、予防、生活支援、住まい等、様々なサービスを包括的・継続的に提供する地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。	【目標】 適切に組み合わせられたサービスの提供 【平成 23 年度～】 ・相談支援体制の充実 ・情報の収集と提供の仕組みづくり	詳細は、別途報告

IV 平成 24 年度第 3 回市政アンケート調査結果と分析

注) 平成 24 年度第 3 回市政アンケート調査で問 8 ～問 23 として調査したものです。

問 8 福岡市の福祉の充実についてどの程度満足していますか。または不満がありますか。あてはまるものを 1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば不満
- 4 不満がある
- 5 わからない



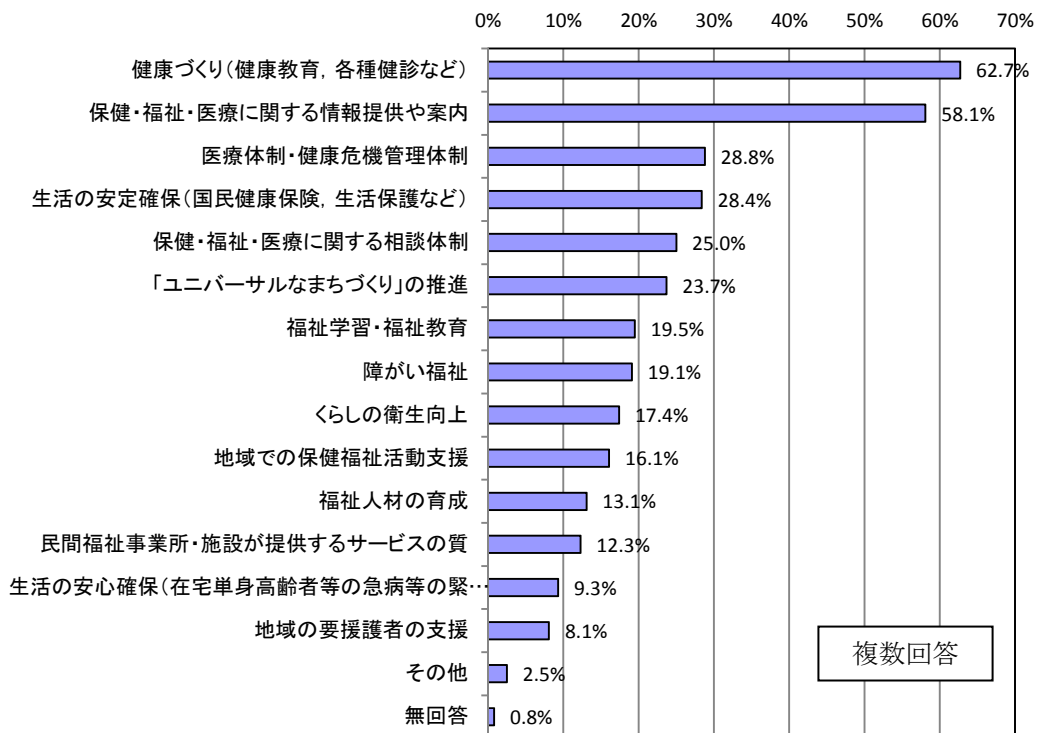
福岡市の福祉の充実度についての満足度を見ると、「満足している」(4.8%)、「どちらかという満足している」(38.5%)を合わせた『満足している』人の割合が43.3%と、「どちらかといえば不満」(14.5%)、「不満がある」(3.3%)を合わせた『不満がある』人の割合の17.8%より多くなっています。

問9 《問8で「1」「2」と回答した方におたずねします。》

満足しているのはどんな内容ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内
- 2 保健・福祉・医療に関する相談体制
- 3 民間福祉事業所・施設（特別養護老人ホームなど）が提供するサービスの質
- 4 健康づくり（健康教育、各種健診（検診）など）
- 5 福祉学習・福祉教育（学校での福祉教育、公民館での出前講座など）
- 6 福祉人材の育成（民生委員・児童委員の担い手確保など）
- 7 地域での保健福祉活動支援（福岡市・区社会福祉協議会と連携した地域活動など）
- 8 地域の要援護者の支援（災害時要援護者台帳の整備など）
- 9 障がい福祉（障がい児の教育、社会参加支援など）
- 10 生活の安定確保（国民健康保険、生活保護など）
- 11 生活の安心確保（在宅単身高齢者等の急病等の緊急時対応事業など）
- 12 医療体制・健康危機管理体制（救急医療、感染症対策など）
- 13 暮らしの衛生向上（食品安全衛生、動物愛護・適正飼育など）
- 14 「ユニバーサルなまちづくり」の推進（建物や道路など都市施設のバリアフリー化※ など）

※ バリアフリー化とは高齢者や障がいのある人などの生活行動に障がい（バリア）となるものを取り除いた環境づくりのことです。



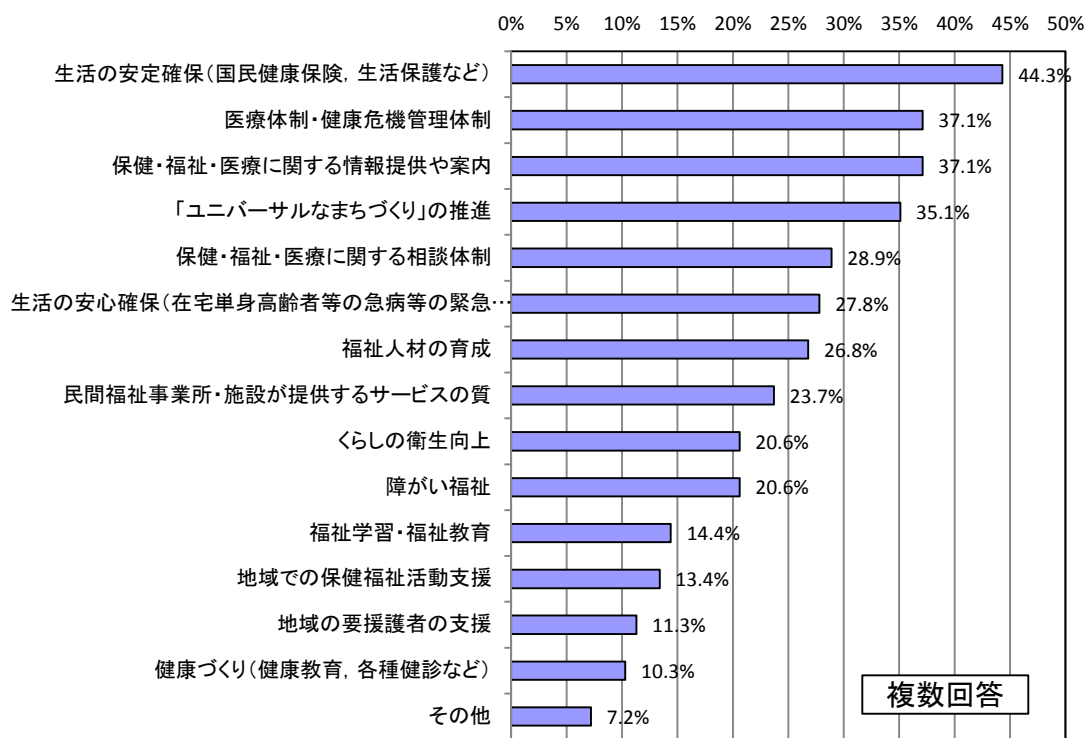
複数回答

問10 《問8で「3」「4」と回答した方におたずねします。》

不満があるのはどんな内容ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内
- 2 保健・福祉・医療に関する相談体制
- 3 民間福祉事業所・施設（特別養護老人ホームなど）が提供するサービスの質
- 4 健康づくり（健康教育、各種健診（検診）など）
- 5 福祉学習・福祉教育（学校での福祉教育、公民館での出前講座など）
- 6 福祉人材の育成（民生委員・児童委員の担い手確保など）
- 7 地域での保健福祉活動支援（福岡市・区社会福祉協議会と連携した地域活動など）
- 8 地域の要援護者の支援（災害時要援護者台帳の整備など）
- 9 障がい福祉（障がい児の教育、社会参加支援など）
- 10 生活の安定確保（国民健康保険、生活保護など）
- 11 生活の安心確保（在宅単身高齢者等の急病等の緊急時対応事業など）
- 12 医療体制・健康危機管理体制（救急医療、感染症対策など）
- 13 暮らしの衛生向上（食品安全衛生、動物愛護・適正飼育など）
- 14 「ユニバーサルなまちづくり」の推進（建物や道路など都市施設のバリアフリー化※ など）
- 15 その他（具体的に： ）

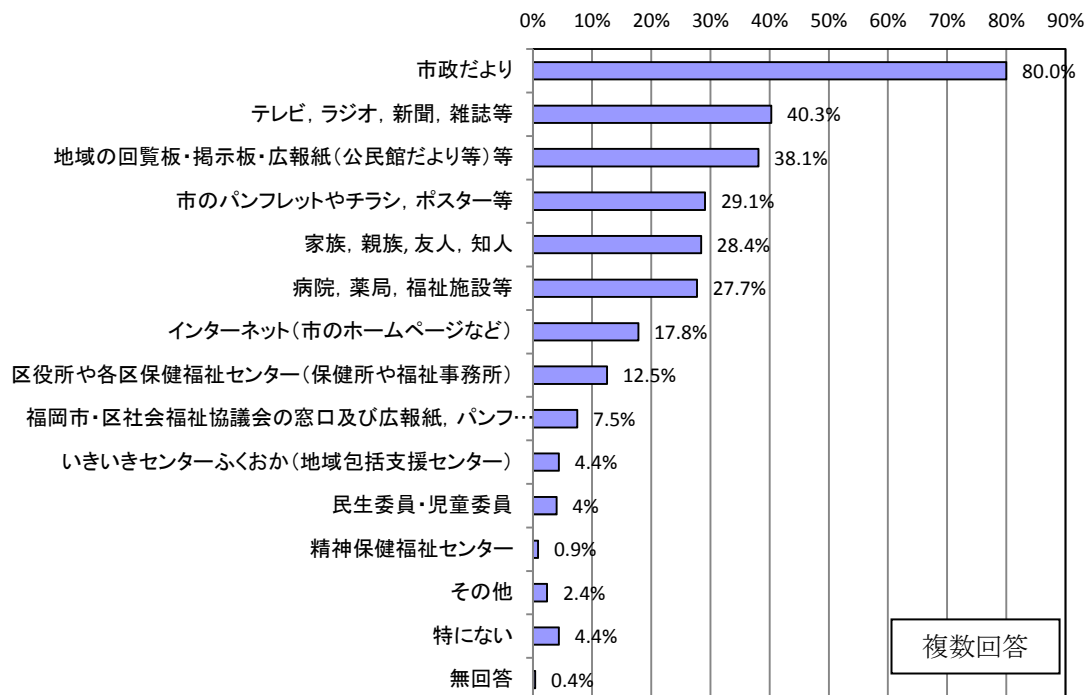
※ バリアフリー化とは高齢者や障がいのある人などの生活行動に障がい（バリア）となるものを取り除いた環境づくりのことです。



問 1 1 《 すべての方におたずねします。》

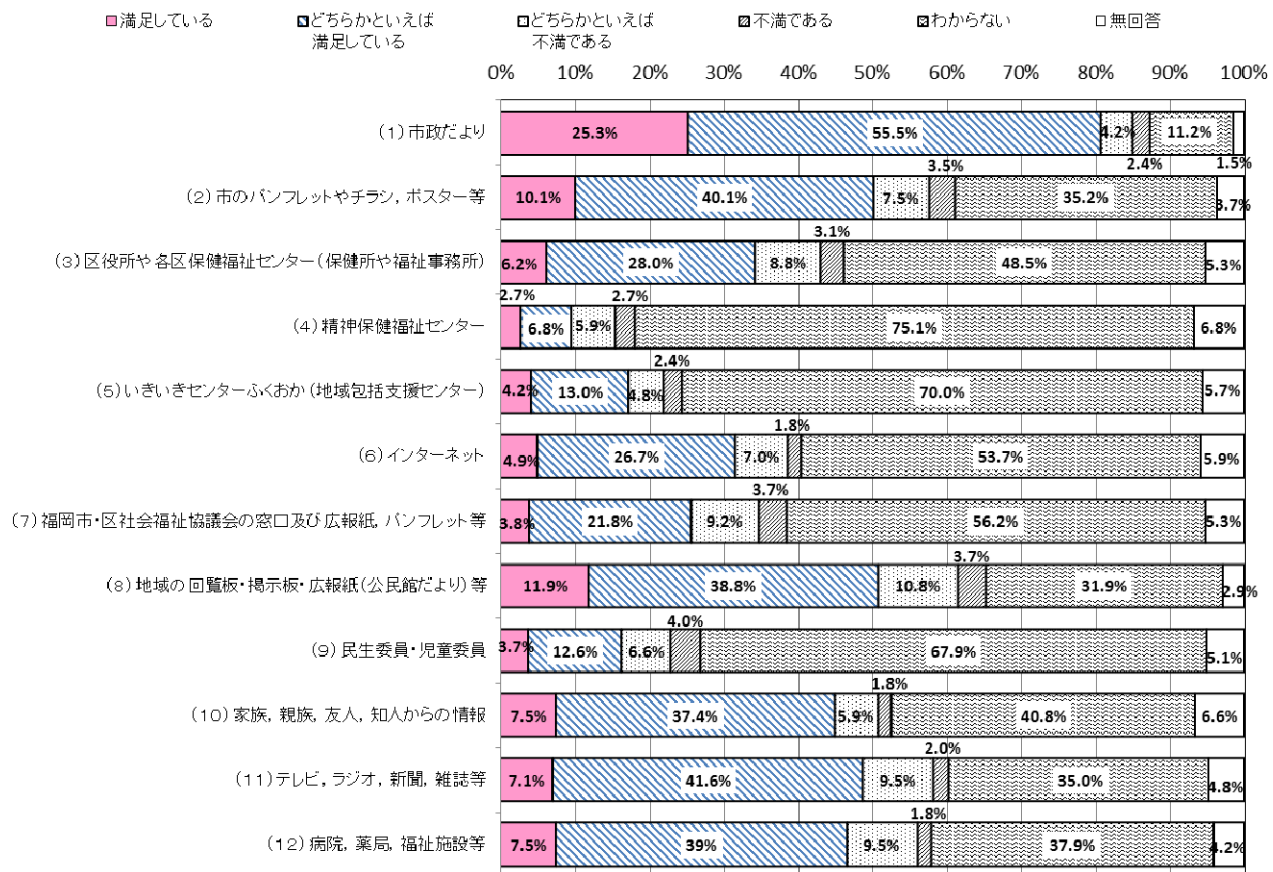
保健・医療・福祉に関する情報をどこから（だれから）得ていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 市政だより
- 2 市のパンフレットやチラシ、ポスター等
- 3 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）
- 4 精神保健福祉センター
- 5 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
- 6 インターネット（市のホームページなど）
- 7 福岡市・区社会福祉協議会の窓口及び広報紙、パンフレット等
- 8 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより等）等
- 9 民生委員・児童委員
- 10 家族、親族、友人、知人
- 11 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等
- 12 病院、薬局、福祉施設等
- 13 その他（具体的に： _____）
- 14 特にない



問12 下表の(1)から(12)が提供する保健・医療・福祉の情報について、どの程度満足していますか。
それぞれあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
(1) 市政だより	1	2	3	4	5
(2) 市のパンフレットやチラシ、ポスター等	1	2	3	4	5
(3) 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	1	2	3	4	5
(4) 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5
(5) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	1	2	3	4	5
(6) インターネット（市のホームページなど）	1	2	3	4	5
(7) 福岡市・区社会福祉協議会の窓口及び広報紙、パンフレット等	1	2	3	4	5
(8) 地域の回覧板・掲示板、広報紙（公民館だより等）等	1	2	3	4	5
(9) 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
(10) 家族、親族、友人、知人からの情報	1	2	3	4	5
(11) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	1	2	3	4	5
(12) 病院、薬局、福祉施設等	1	2	3	4	5



資料 1

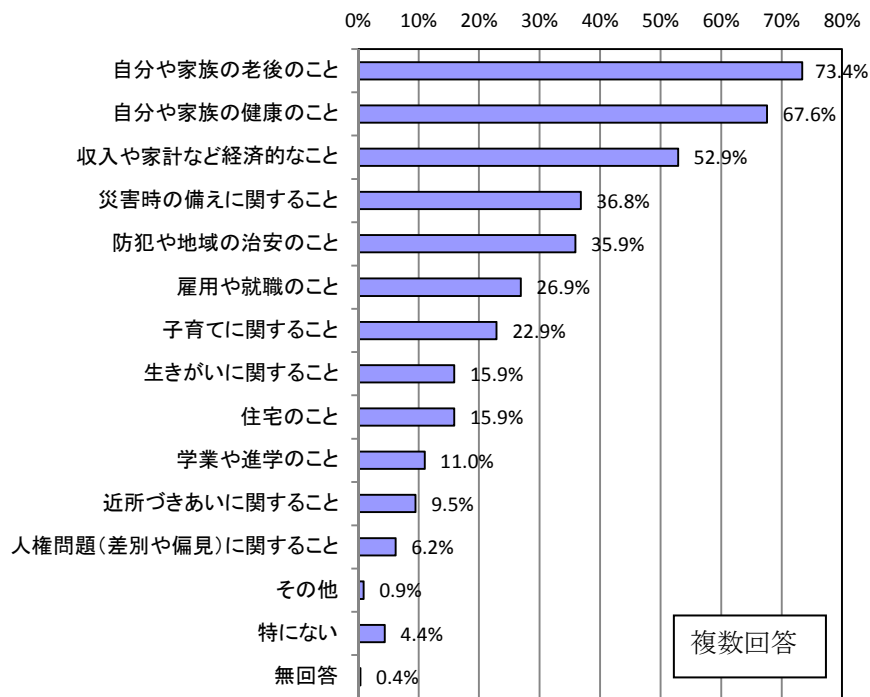
保健・医療・福祉に関する情報提供について、どの程度満足しているかについては、「満足している」(25.3%)、「どちらかといえば満足している」(55.5%)を合わせた『満足している』人の割合は、「(1) 市政だより」が 80.8%で最も高く、次いで「(8) 地域の回覧板・掲示板・広報誌（公民館だより）等」(50.7%)、「(2) 市のパンフレットやチラシ、ポスター等」(50.2%)、「(11) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」(48.7%)、「(12) 病院、薬局、福祉施設等」(46.5%)、「(10) 家族、親族、友人、知人からの情報」(44.9%)などの順でした。

「満足している」＋「どちらかといえば満足している」		
1	(1) 市政だより	80.8%
2	(8) 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより）等	50.7%
3	(2) 市のパンフレットやチラシ・ポスター等	50.2%
4	(11) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	48.7%
5	(12) 病院、薬局、福祉施設等	46.5%

「不満である」＋「どちらかといえば不満である」		
1	(8) 地域の回覧板・掲示板・広報紙（公民館だより）等	14.5%
2	(7) 福岡市・区社会福祉協議会の窓口及び広報紙、パンフレット等	12.9%
3	(3) 区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	11.9%
4	(11) テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	11.5%
5	(12) 病院、薬局、福祉施設等	11.3%

問 13 普段、どのような悩みや不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

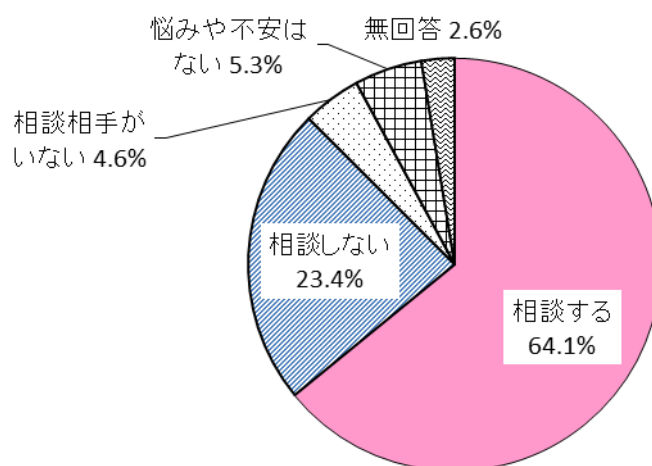
- 1 自分や家族の健康のこと
- 2 自分や家族の老後のこと
- 3 生きがいに関すること
- 4 子育てに関すること
- 5 近所づきあいに関すること
- 6 収入や家計など経済的なこと
- 7 雇用や就職のこと
- 8 学業や進学のこと
- 9 住宅のこと
- 10 防犯や地域の治安のこと
- 11 災害時の備えに関すること
- 12 人権問題（差別や偏見）に関すること
- 13 その他（具体的に：
- 14 特にない



問 1 4 悩みや不安を感じたとき、だれか（どこか）に相談していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 相談する
- 2 相談しない
- 3 相談相手がいらない
- 4 悩みや不安はない

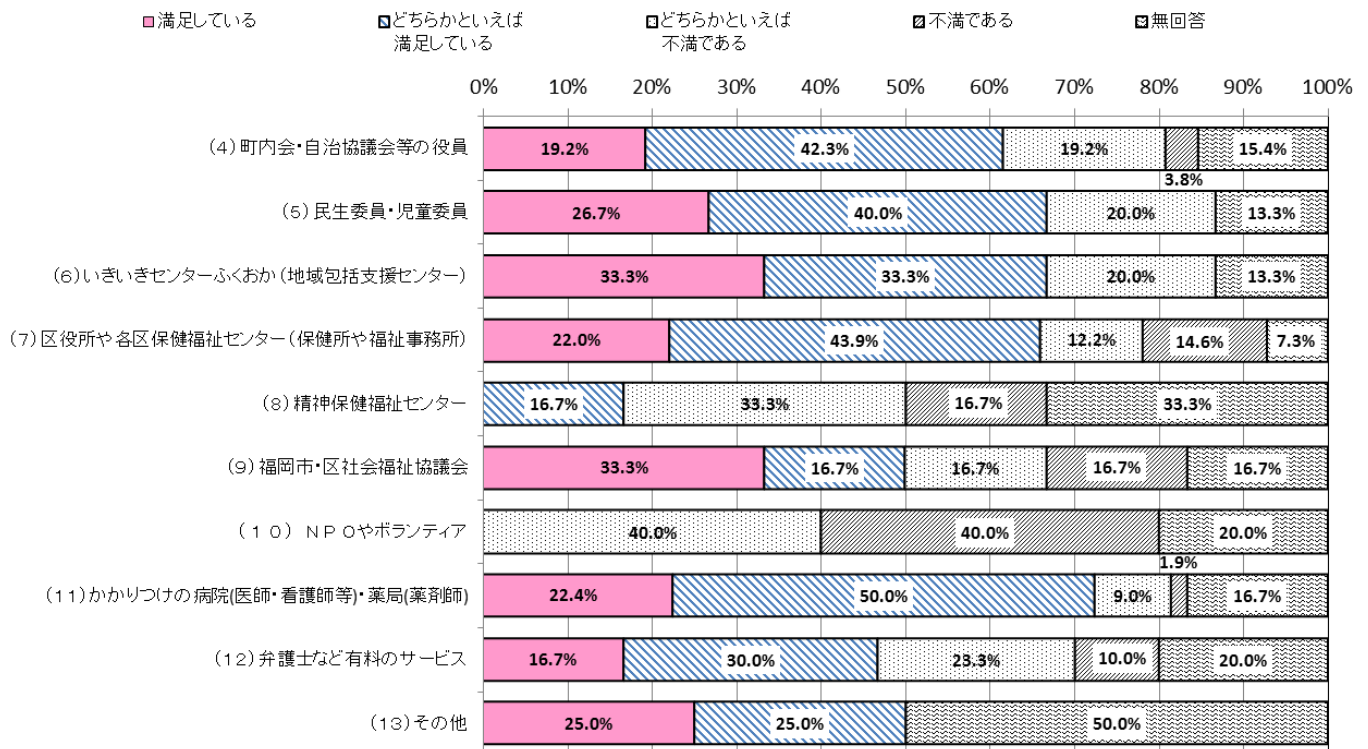
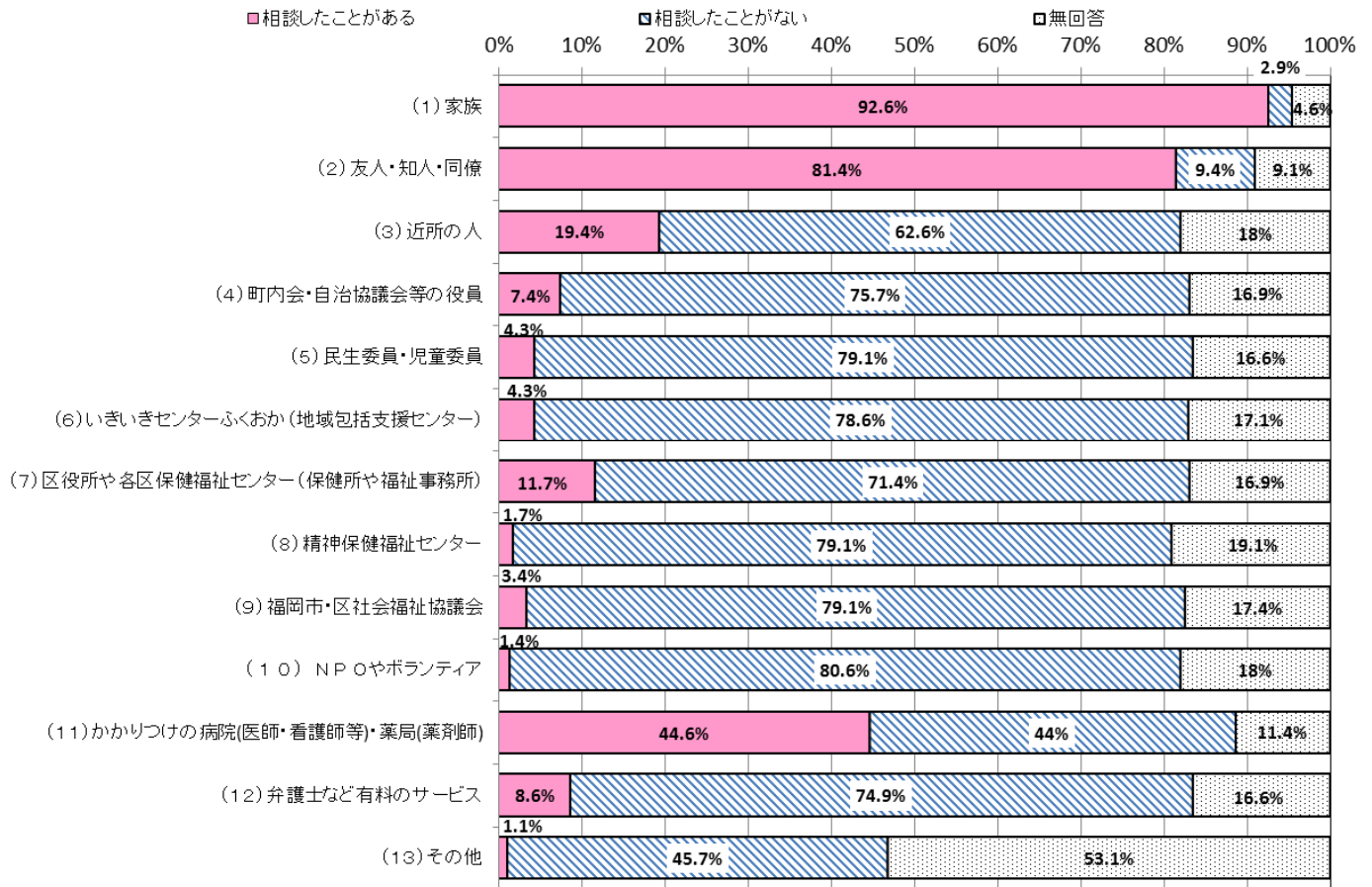
問 1 5 へ



問15 《問14で、「1相談する」と回答した方におたずねします。》

悩みや不安について、①どこに（だれに）相談していますか。また、②相談したことがある場合、相談した結果にどの程度満足していますか。それぞれあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

	① 相談の有無		② 相談したことがある場合			
	相談したことがない	相談したことがある	満足している	満足している どちらかといえば	不満である どちらかといえば	不満である
(1) 家族	1	2				
(2) 友人・知人・同僚	1	2				
(3) 近所の人	1	2				
(4) 町内会・自治協議会等の役員	1	2	3	4	5	6
(5) 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5	6
(6) いきいきセンターふくおか (地域包括支援センター)	1	2	3	4	5	6
(7) 区役所や各区保健福祉センター (保健所や福祉事務所)	1	2	3	4	5	6
(8) 精神保健福祉センター	1	2	3	4	5	6
(9) 福岡市・区社会福祉協議会	1	2	3	4	5	6
(10) NPOやボランティア	1	2	3	4	5	6
(11) かかりつけの病院(医師・看護師等)・薬局(薬剤師)	1	2	3	4	5	6
(12) 弁護士など有料のサービス	1	2	3	4	5	6
(13) その他 (具体的に:)	1	2	3	4	5	6



悩みや不安について、どこに（だれに）相談しているかについては、「（１）家族」が 92.6%で最も多く、次いで「（２）友人・知人・同僚」（81.4%）,「（11）かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）」（44.6%）などの順となっています。行政機関の相談窓口である「（７）区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）」を挙げた人は 11.7%で 5 番目に高い割合でしたが、「（６）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」（4.3%）,「（８）精神保健福祉センター」（1.7%）,「（５）民生委員・児童委員」（4.3%）,「（９）福岡市・区社会福祉協議会」（3.4%）は低い水準にとどまっています。

また、相談した結果にどの程度満足しているかについては、「家族」「友人・知人・同僚」,「近所の人」を除くと、「（11）かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）」が 72.4%で最も満足度が高く、次いで「（５）民生委員・児童委員」（66.7%）,「（６）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）」（66.6%）,「区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）」（65.9%）などの順でした。

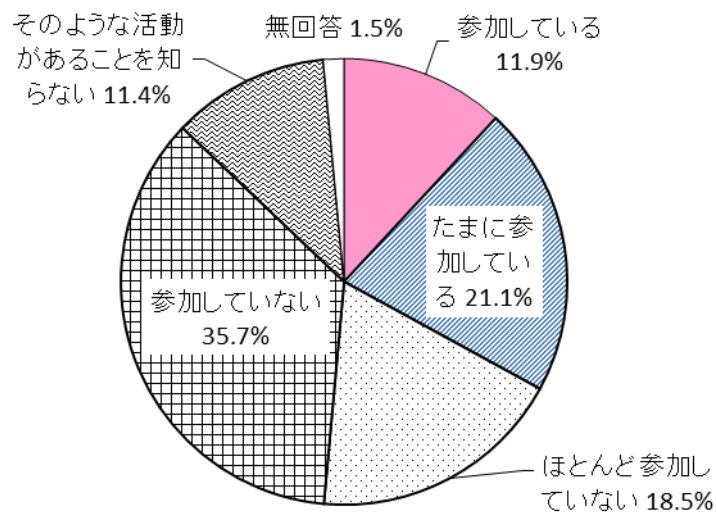
「満足している」＋「どちらかといえば満足している」		
1	（11）かかりつけの病院（医師・看護師等）・薬局（薬剤師）	72.4%
2	（５）民生委員・児童委員	66.7%
3	（６）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）	66.6%
4	（７）区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	65.9%
5	（４）町内会・自治協議会等の役員	61.5%

「不満である」＋「どちらかといえば不満である」		
1	（10）NPO やボランティア	80.0%
2	（８）精神保健福祉センター	50.0%
3	（９）福岡市・区社会福祉協議会	33.4%
4	（12）弁護士などの有料のサービス	33.3%
5	（７）区役所や各区保健福祉センター（保健所や福祉事務所）	26.8%

問16 《 すべての人におたずねします。》

住民参加による地域での助け合い、支え合い活動（町内会などが実施する防犯、防災、見守り、環境美化などの活動、その他ボランティア）に参加していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加している
- 2 たまに参加している
- 3 ほとんど参加していない
- 4 参加していない
- 5 そのような活動があることを知らない



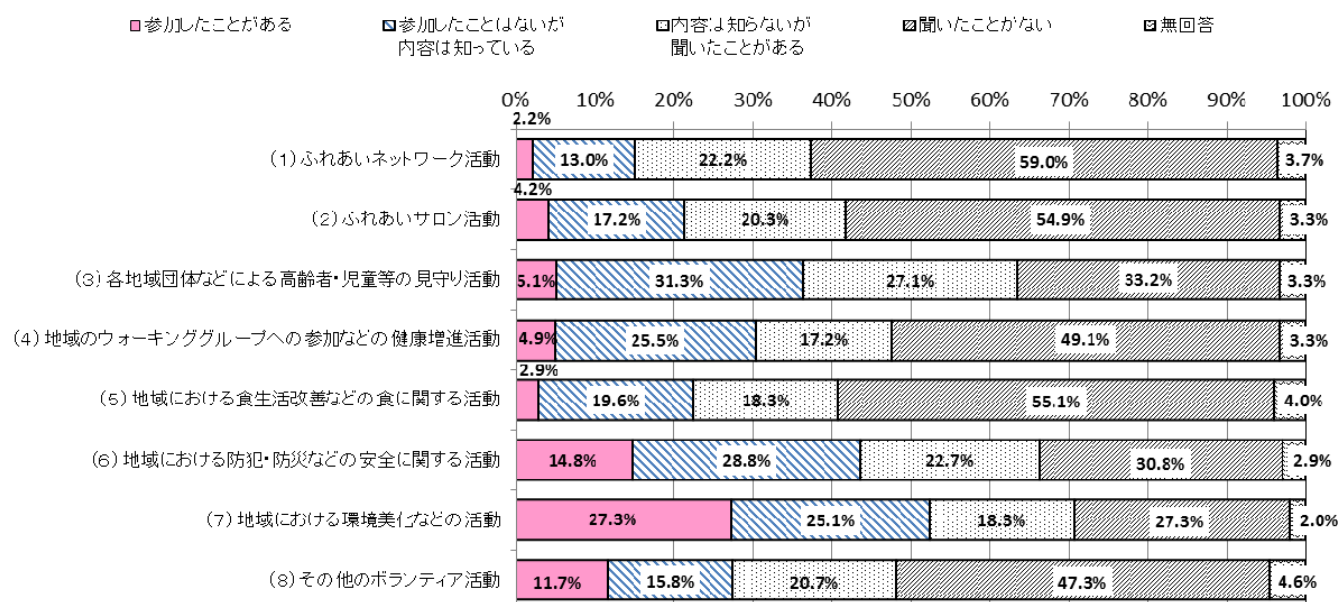
住民参加による地域での支え合い活動への参加状況を見ると、「参加している」（11.9%）, 「たまに参加している」（21.1%）を合わせた『参加している』人の割合は33.0%となっています。また, 「ほとんど参加していない」（18.5%）, 「参加していない」（35.7%）を合わせた『参加していない』人の割合は54.2%と、全体の過半数を占めています。

問 17 地域で行われている以下の保健福祉活動の内容について、過去1年間に、活動内容について見聞きしたり、活動に実際に参加したりしたことはありますか。(1)から(8)のそれぞれについてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

	参加したことがある	参加したことはないが 内容は知っている	内容は知らないが 聞いたことがある	聞いたことがない
(1) ふれあいネットワーク活動 (※1)	1	2	3	4
(2) ふれあいサロン活動 (※2)	1	2	3	4
(3) 各地域団体など（老人クラブ・民生委員など）による 高齢者・児童等の見守り活動	1	2	3	4
(4) 地域のウォーキンググループへの参加などの健康増進活動	1	2	3	4
(5) 地域における食生活改善などの食に関する活動	1	2	3	4
(6) 地域における防犯・防災などの安全に関する活動	1	2	3	4
(7) 地域における環境美化などの活動	1	2	3	4
(8) その他のボランティア活動	1	2	3	4

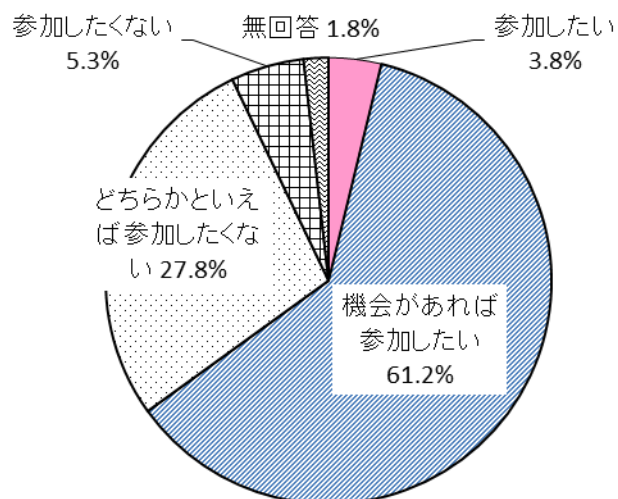
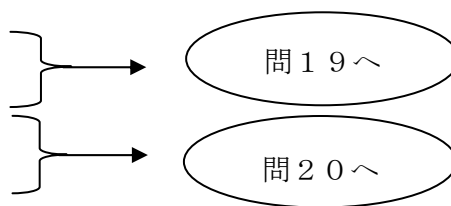
(※1) ふれあいネットワーク活動とは、地域住民（ボランティア）が各保健福祉関係機関と連携しながら、地域の課題を発見し、話し合い、解決していく小地域での地域福祉活動です。主な内容は、生活支援を必要とする高齢者や障がい者などを必要に応じて訪問し、見守り等の支え合い活動を行います。

(※2) ふれあいサロン活動とは、地域住民（ボランティア）と家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者などが、公民館や集会所などで行う仲間作りの交流活動です。主な内容は月に1回から4回、健康チェックやレクリエーションなどを行います。



問 1 8 今後問 1 7 に掲げるような住民参加による地域での助け合い、支え合い活動が行われる場合、どのように関わりたいとお考えですか。あてはまるものを 1 つ 選び、番号に○をつけてください。

- 1 参加したい
- 2 機会があれば参加したい
- 3 どちらかといえば参加したくない
- 4 参加したくない

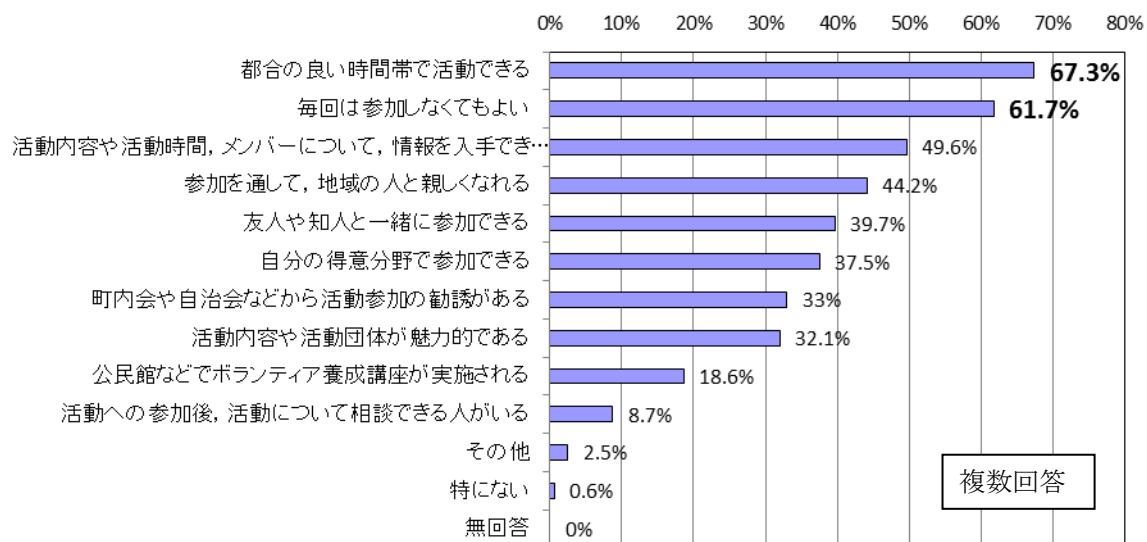


今後の活動への参加意向では、「参加したい」(3.8%)、「機会があれば参加したい」(61.2%)を合わせた『参加意向がある人』は 65.0%であり、問 16 で実際に参加していると答えた人の約 2 倍となっています。

問19 《問18で「1」「2」と回答した方におたずねします。》

住民参加による地域での助け合い支え合い活動について、どのような要件があれば参加しやすいと思いますか、あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

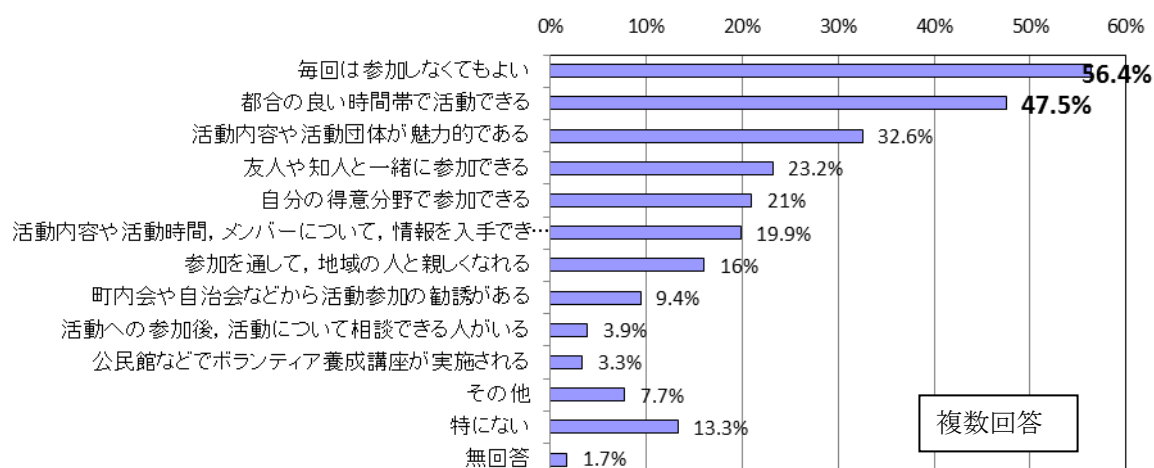
- 1 活動内容や活動時間、メンバーについて、情報を入手できる場がある
- 2 活動内容や活動団体が魅力的である
- 3 町内会や自治会などから活動参加の勧誘がある
- 4 友人や知人と一緒に参加できる
- 5 参加を通して、地域の人と親しくなれる
- 6 都合の良い時間帯で活動できる（日中、夕方、平日、土日など選べる）
- 7 毎回は参加しなくてもよい
- 8 自分の得意分野で参加できる（例：話し相手になる、家事、文書作成など）
- 9 活動への参加後、活動について相談できる人がいる
- 10 公民館などでボランティア養成講座が実施される
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にない



問20 《問18で「3」「4」と回答した方におたずねします。》

住民参加による地域での助け合い支え合い活動に、どのような仕組みがあれば、参加したいと
考えますか。あなたの考えに近いものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 活動内容や活動時間、メンバーについて、情報を入手できる場がある
- 2 活動内容や活動団体が魅力的である
- 3 町内会や自治会などから活動参加の勧誘がある
- 4 友人や知人と一緒に参加できる
- 5 参加を通して、地域の人と親しくなれる
- 6 都合の良い時間帯で活動できる（日中、夕方、平日、土日など選べる）
- 7 毎回は参加しなくてもよい
- 8 自分の得意分野で参加できる（例：話し相手になる、家事、文書作成など）
- 9 活動への参加後、活動について相談できる人がいる
- 10 公民館などでボランティア養成講座が実施される
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にない



問 2 1 《 すべての人におたずねします。》

以下の地域の団体等について、過去1年の間に、活動内容について見聞きたり、利用したりしたことはありますか。(1)から(13)のそれぞれについてあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

	利用したことがある	利用したことはないが 内容は知っている	内容は知らないが 聞いたことがある	聞いたことがない
(1) 福岡市・区社会福祉協議会	1	2	3	4
(2) 校区社会福祉協議会	1	2	3	4
(3) 福岡市・区ボランティアセンター	1	2	3	4
(4) あんしん生活支援センター(※1)	1	2	3	4
(5) いきいきセンターふくおか(※2)(地域包括支援センター)	1	2	3	4
(6) NPO・ボランティア交流センター(通称「あすみん」)(※3)	1	2	3	4
(7) 精神保健福祉センター	1	2	3	4
(8) よかよかルーム(ひきこもり成年地域支援センター)(※4)	1	2	3	4
(9) 食生活改善推進員協議会	1	2	3	4
(10) 福岡市衛生連合会	1	2	3	4
(11) 民生委員・児童委員	1	2	3	4
(12) 地域福祉ソーシャルワーカー(※5)	1	2	3	4
(13) シルバー人材センター	1	2	3	4

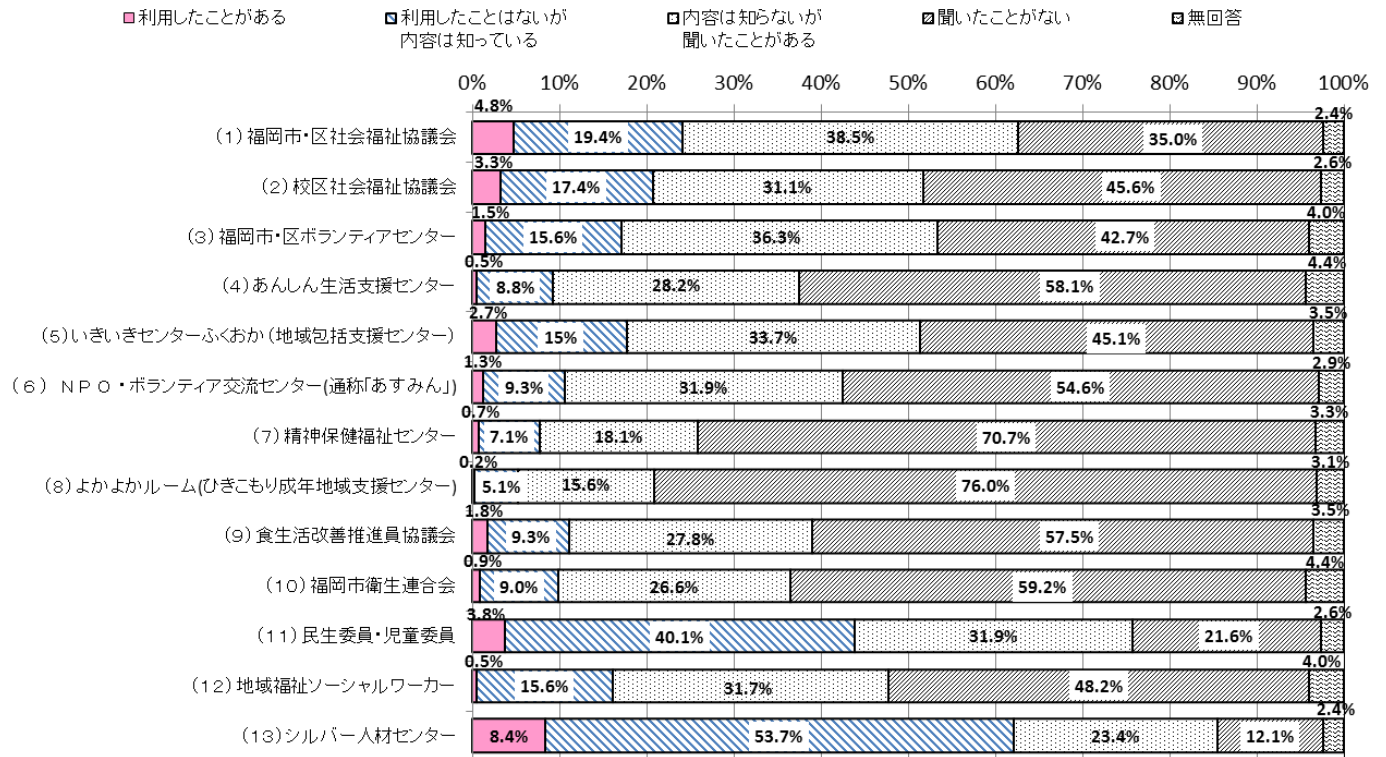
(※1) あんしん生活支援センターとは、判断能力が不十分な人を対象に、福祉サービス利用援助や、日常金銭の管理などを有料で行う窓口で、市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)4階にあります。

(※2) いきいきセンターふくおかとは、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるように、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に最も適したアドバイスを行うなど高齢者が自立した生活を続けていくことができるよう応援するセンターで、市内39箇所に設置されています。

(※3) NPO・ボランティア交流センター(通称「あすみん」とは、市民主体のまちづくり実現のため、NPOやボランティア活動をはじめとする様々な市民公益活動の情報・交流の拠点として設置された施設で、市立青年センター5階にあります。

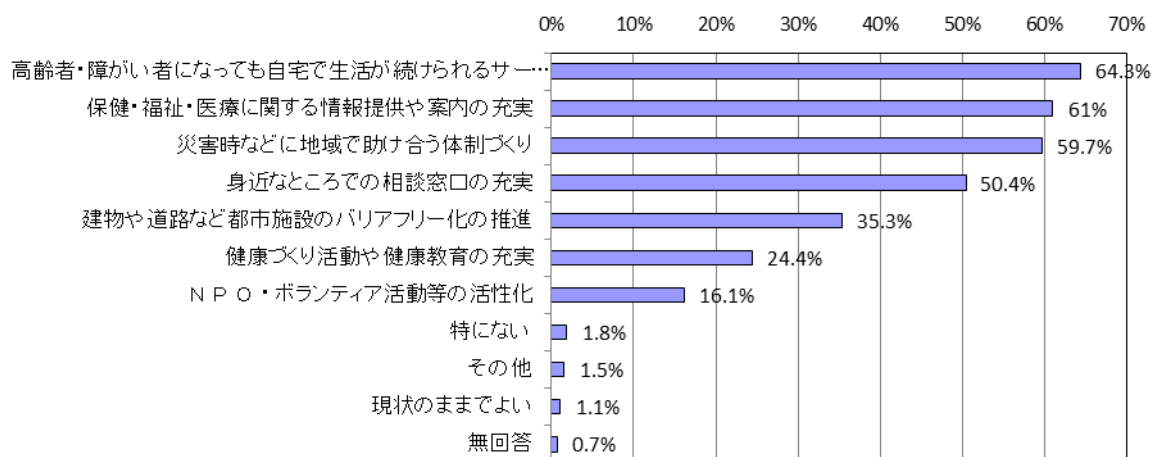
(※4) よかよかルームとは、概ね20歳以上のひきこもり本人やそのご家族、関係者からの電話や面接相談を行っているひきこもりに関する相談窓口で、必要に応じ訪問相談やグループ支援も行っています。

(※5) 地域福祉ソーシャルワーカーとは、福岡市がモデル的に配置した、地域包括支援センター(いきいきセンターふくおか)や区保健福祉センターと協力して地域での見守りのネットワーク構築の支援を行う人のことです。民生委員など地域の見守り活動を行う団体などへの相談・助言を行ったり、地域の孤立しがちな人へ働きかけを行い、インフォーマルなサービスを活用した福祉サービスのコーディネートをするなどの、支援を行います。



問22 今後、福岡市では、住みやすいまちをつくるために、保健・医療・福祉の分野において、どのような施策に力を入れて取り組むべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

- 1 保健・福祉・医療に関する情報提供や案内の充実
- 2 身近なところでの相談窓口の充実
- 3 建物や道路など都市施設のバリアフリー化の推進
- 4 高齢者・障がい者になっても自宅で生活が続けられるサービスの充実
- 5 健康づくり活動や健康教育の充実
- 6 NPO・ボランティア活動等の活性化
- 7 災害時などに地域で助け合う体制づくり
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 現状のままでよい
- 10 特にない



問23 福岡市が提供する保健・医療・福祉サービスの水準と、その財源として市民全体で負担する税金などのバランスについて、あなたのお考えに最も近いのは、次のどの意見ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 負担が増えても、サービスの維持・充実に努めるべきである
- 2 負担は現状維持のまま、サービスの内容を見直すべきである
- 3 負担が減るよう、サービスを縮小・廃止すべきである
- 4 その他（具体的に：

